

いちじく さび病の発生に注意しましょう (10月4日)

事務連絡

平成 20 年 10 月 4 日

関 係 各 位

大阪府病害虫防除所長

いちじく さび病の発生に注意しましょう

9月下旬から10月上旬にかけて、南河内の植物防疫協力員等から、いちじくでさび病の発生が例年より多く見られるとの情報がありました。台風や秋雨前線による降雨などで、今後も被害が広がる可能性があります。

さび病は、葉の裏面に黄褐色の病斑が生じる病気で、激発すると葉が枯れ、樹勢に影響します。

○いちじくのさび病の発生適温は 25～30℃である。

○さび病が発生した葉は、つま取って処分する。

○発生を確認した場合は、以下の薬剤で散布して防除する。

アンビルフロアブル（1,000 倍 前日／2 回）

アミスター10 フロアブル（1,000 倍 前日／3 回）

収穫中なので、薬剤散布の使用時期についてはご注意ください。

「収穫前日まで」となっている薬剤については、収穫 24 時間前まで使用可能です。

◎防除薬剤については、

●Web 版大阪府病害虫防除指針 (<http://www.jppn.ne.jp/osaka>)

●農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報検索システムにて確認してください。

(<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html>)

なお、薬剤の選定や使用にあたっては、ラベルに記載されている内容をよく読んで注意して下さい。